

都市計画報告会

日時：11月8日（日）15:30～17:30

司会：古山 周太郎（早稲田大学）

報告会①

題 目	著 者	○印＝発表予定者
スマートシティにおける統合型プラットフォーム構築における方策と課題	○川合智也（早稲田大学）・鎌田秀一・森本章倫	
鉄道新線・新駅の開業に伴う市街化の進展に関する研究	○吉岡 健（東京都立大学）・吉川 徹	
地方都市における市街地再開発事業と周辺商業集積の変化の関連性 —商業集積の施設数変化に着目して	○宮本勇希（東京都立大学）・吉川 徹・讃岐 亮	
高経年計画的住宅団地の区画と土地利用の変化実態と今後の土地活用の可能性 —各区画と前面道路・隣地との高低差に着目して	○元吉裕樹（東洋大学）・野澤千絵	
大都市圏における認知距離と居住履歴との関連性 —東京首都圏を対象として	○吉川 徹（東京都立大学）・中西 健	
「コロナ道路占用許可」における路上客席の可能性と課題 —新型コロナウイルス感染症に伴う路上客席の緊急措置に関する速報的考察	○泉山墨威（日本大学）・西田 司・石田祐也・宋俊煥・矢野拓洋・濱紗友莉・小原拓磨	
COVID-19 による大学生の都市活動・生活様式の変化	○鈴木直輝（東京大学）・高松未来・貫井玲音・藤松 駿・洪 義定・宮園侑門・樋野公宏	
2次、1次医療圏における療養病床と精神科病床の分布の傾向分析	○楠 拓也（東京都立大学）・吉川 徹	

報告会②

司会：柏崎 梢（東洋大学）

題 目	著 者	○印＝発表予定者
田園住居地域指定による都市農地の活用可能性 —東京都練馬区高松地区におけるケーススタディ	○松村 優（東京大学）・山口忠志・真鍋陸太郎・村山顕人・小泉秀樹	
ボルティモア市の住宅再生 パターソン公園地区の場合	○平 修久（聖学院大学）・西浦定継・吉川富夫	
ヤンゴンにおけるスラム居住者の生活実態調査報告	○山田滉人（東北大学）・村尾 修・田中智大	
世界における『VISIONZERO』政策のリーディング・カンパニー—ヘーリノベーションまちづくり聖地百万人都市のプライド／欧州における『VISIONZERO』政策に関する研究—日本における『インフラ公共空間社会』の構築に関するケーススタディ	○尾藤文人（静岡文化芸術大学）・澤田尚人・天川洋介	
持続可能な地域創りをサポートする資金調達手法に関する考察—新たな地域応援ファンド「天竜川応援基金（SDGs 基金）」の創設／かわまちづくりの維持管理に関する「デザイン・サーキュレーション」に係る—考察—天竜川下流マスコット・キャラクター「りゅっぴい」による展開事例	○尾藤文人（静岡文化芸術大学）・（一社）CWP	
寒冷地都市における河川空間利用に関する研究 —新潟市における取り組みの沿革・実態の把握を通じて	○溝口哲平（筑波大学）・藤井さやか	
みなとオアシスの運営状況と地域への効果に関する研究	○林 歩実（神戸市立工業高等専門学校）・小塚みすず	

報告会③

司会：瀬田 史彦（東京大学）

題 目	著 者	○印＝発表予定者
まちづくり拠点における機能の実態と新たな役割の可能性に関する研究 —横浜市内のまちづくり拠点を対象として	○小川明穂（株）アール・アイ・エー）・野原 卓	
居住履歴からみた大都市圏住民の「故郷（ふるさと）」意識に関する研究	○大野浩史（埼玉大学）・菊池雅彦・小嶋 文・加藤哲平・久保田 尚	
京都市における京町家型の宿泊施設への用途変更に関する研究 —旅館業法の簡易宿所を中心に	○オウチョウキ（立命館大学）・吉田友彦	
中高生のまちづくりワークショップによる町への関心の変化 —愛媛県松野町でのワークショップの経験から	○土屋泰樹（東京工業大学）・藤田尚樹・青木悠輔・大室春喜・中井隼裕・沼田麻美子	
ベルリン市のクラインガルテン発展計画の変化 —成長都市における農的空間の計画的保全手法に関する一報告	○新保奈穂美（筑波大学）・太田尚孝	
伝建地区における住民の趣味園芸の場としての空き地利用に関する研究 —八女福島伝建地区での事例研究	○内野絢香（熊本大学）・加藤浩司	
ニューヨーク市アクティブデザインガイドラインの展開—ガイドラインの実装化に着目して	○長村佳子（東京農業大学）・福岡孝則	